

昭和二十四年六月
大正五年四月六日第三種
（省特別授承認雜誌第四五三號）
（省特別授承認雜誌第四五三號）
昭和二十五年八月二十五日印刷
（每月一回一日發行）

哲學研究

第三十四卷 第二册

第三百九十五號

昭和二十五年九月一日發行

求道時代の佛陀……………武内義範

思辨論理の可能性に就いて(完)……………山本清幸

アリストテレスに於ける
知性の構造(承前)……………安藤孝行

社會學界の近況(白井一尚)
國際東洋學會議のことなど(長尾雅人)

京都大學文學部内
京都哲學會

京都哲學會規約

- 一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする
- 一、右の目的のために次の事業を行ふ
- (一) 毎月一回研究会を開く
- (二) 毎年公開講演會を開く
- (三) 毎月一回「哲學研究」を發行する
- 一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく、委員は京都大學哲學科教官及び委員會において推薦した者に委嘱する
- 一、本會は會員組織とし、會員には資格の制限を設けない、學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入會することもできる
- 一、會員は會費として年五四〇圓、又は半年二七〇圓を前納する
- 一、會員は會誌の配布を受け、會誌に豫告する諸種の行事に出席することができる
- 一、本會は事務所を京都大學文學部内におく
- 一、本會規約の改正變更は委員會の決議による

京都哲學會役員

委員

井	山	矢	三	松	野	長	田	武	高	岡	島	下	重	上	白	有
島	内	田	村	尾	田	尾	中	内	田	原	芳	程	澤	野	井	賀
	得	部		義	又	雅	美	義	三	太		勇	俊	照	二	鐵
勉	立	郎	勉	海	夫	人	知	範	郎	郎	夫	吉	郎	夫	尙	太

反駁も行はれてゐるが、その「誤り」として指摘する所、即ち教育に對して、人間の内面的・精神的なヴァイタリティーの開發に重點を置き、實際的技能的訓練よりも一般的人間能力の開發に優位をおくべしとする見解には聞かすべき點があると考へる。然し實際的な教育方法に對する考へ、發達段階の分け方等は、進歩主義者の所説と大した相違はないやうに思ふ。」と結論された。發表後、「エツセンシヤリストの考へ、その中でも區別されるべき Perennialist (永久主義者) の見解、及び之に對する進歩主義者の側よりの批判等について討論を行ふ。

「部落問題について」 南 弘

教育の現場に常に存在し、然もはかどしい解決を見ない困難な問題として、部落問題についてその實狀を紹介された。即ちその發生の原因、歴史的な變遷、現在特に戦後に於ける實態、更に之に對する一般市民の知識・態度の實態調査の結果について論じ、部落問題の由つて來る所、及びその解決の困難は、専ら一般人の側の無知に歸すべきものであることを、種々の實例をあげて強調され、同和教育と稱されるものは、地區を對象として行はるべきものではなく、一般社會人に向けられるべきものであること、そして地區を對象とする場合は、その考案感の排除に重點がおかれてゐることを示され、この問題に對する正しい理解を要望された。發表後、實際に起つた問題、會員の持つ經驗等を中心に討論を行ふ(終了九時半)。(蜂屋)

關西倫理學會發會式豫告

一、發會式(第一回總會) 十月八日(日)午前九時半
京大文學部 第七講義室

一、公開講演會 同日午後一時半
京大文學部 第一講義室

「カントの倫理説と其の應用」 奈良女大 伊藤 惠君
京大 教授

「道德的事實と社會的事實」 京大 島 芳 夫君
京大 教授

一、懇親會 右終了後會員有志の懇親會を催します
京都市五局 既内 吉田 京大文學部倫理學研究室内

關西倫理學會

執筆者紹介

武内 義範 京大文學部(宗教學)助教

山本 浩幸 九州大學教養部(哲學)助教

安藤 孝行 金澤大學法文學部(哲學)助教

白井 二尙 京大文學部(社會學)教授
京大文學部博士

長尾 雅人 京大文學部(佛教學)助教
京大文學部博士

岡野留次郎氏「アリストテレス存在論の基礎構造について」の正誤表(但し特に重要なものについて)

頁	行	誤	訂正
三百八十三	一六	並に範疇解釋の原理	並に範疇解釋の原理
三百八十五	五	け、られ	け、また働きかけられ
三百八十七	五	「包まれたものに對し」それに	「包まれたものに對し、それに
同	一一	限りの感性的存在	取扱ふ限りの感性的存在
同	九	取扱ふ作品	作品
三百九十三	四三	時間の非連続	時間の非連続的・連続

前 號 目 次

宗教的實存の實存的課題(卷)………	石津 照塵
—キェルケゴール諸著作の位置と意義—	
思辨論理の可能性に………	山本 清幸
就いて(承前)	
鎌倉期淨土教の時間論的展開………	河野 憲善
—一過の當體の念佛について—	
書評—Northon, <i>The Meeting of East and West</i> と Althaus, <i>Die christliche Wahrheit</i> (卷) (51)	(有賀 謙太郎)

會 告

- 一、本會へ入會希望の方は京都市左京區田中西浦町弘文堂内京都哲學會係宛に規定の會費をお拂込下さい
「振替口座京都一九五五六番 京都哲學會」
- 一、前金切れの場合は帶封に「前金切」の印を捺しますから直ちに御拂込下さい
- 一、會員の轉居入退會等(編集事務以外は一切)の事務は弘文堂内京都哲學會係へ御通知下さい
- 一、本誌の編集に關する通信・新刊書寄贈雜誌等はすべて本會宛にお送り下さい

京都大學
文學部内 京都哲學會

註 文 規 定

- 一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告に關する件は「弘文堂」へ御申込下さい
- 一、本誌の御註文はすべて代金郵稅共前金にてお送り下さい
- 一、特に請求書及び領收書等を要する場合は郵券八圓をお送り下さい

昭和二十五年八月廿五日印刷
昭和二十五年九月一日發行

編 集 人 京 都 大 學 文 學 部 内

右 代 表 者

發 行 人 三 村 勉

久 保 井 理 津 男

東 京 都 千 代 田 神 田 駿 河 靈 四 ノ 四

印 刷 所 鈴 鹿 幸 保

京 都 市 田 中 西 浦 町 四 〇

弘 文 堂 印 刷 部

京 都 市 田 中 西 浦 町 四 〇

發 行 所

株 式 會 社

弘 文 堂

東 京 都 千 代 田 神 田 駿 河 靈 四 ノ 四

定 價		冊 數	定 價	郵 稅
一冊	冊	四十五圓	金三圓	四
六冊(前金)	冊	二百七十圓	金十八圓	
三冊(前金)	冊	五百四十圓	金三十六圓	

(誌代の變更による會費の過不足は半年又は一年毎に精算いたします)

THE JOURNAL
OF
PHILOSOPHICAL STUDIES

THE TETSUGAKU KENKYU

Vol. XXXIV

September, 1950

No. 2

The Path to Truth Trodden by Gautama Buddha .Yoshinori Takeuchi

On the Possibility of Speculative Logic Kiyoyuki Yamamoto

Aristotle's Concept of the Intellect Takatsura Ando

Academic News :

The Present Condition of Sociology in Japan Jisho Usui

*The Twenty-First International Congress of Orientalists,
1948—in Reference to the Study of Buddhism* Gadjin M. Nagao

Published Monthly

By

THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan

大正五年四月六日
第三種郵便物認可
昭和二十五年八月廿五日印刷
（毎月一回）
一日發行

定
價
金
四
十
五
圓